

山形県大江町産「葉っぱ」の四季巡り



新緑の神通峡

山形県大江町は山形県のほぼ中央部村山平野の西部に位置し、東に日本三大急流の最上川を、西には日本百名山の一つ朝日連峰、その二つを結ぶ月布川によって形成される自然豊かな町です。

大江町左沢(あてらざわ)の町場の形成は、最上川舟運の河岸と城下町を起源としています。また、左沢の川港は江戸元禄以降、酒田と米沢を結ぶ最上川舟運の中継地として栄えてきました。最上川の流れて乗って京の雅な文化が運ばれ、お雛さまに代表される多くの舟運文化が華開きました。舟運全盛時代には市が立ち、人々が集い、商業の町として左沢に富と繁栄をもたらしました。

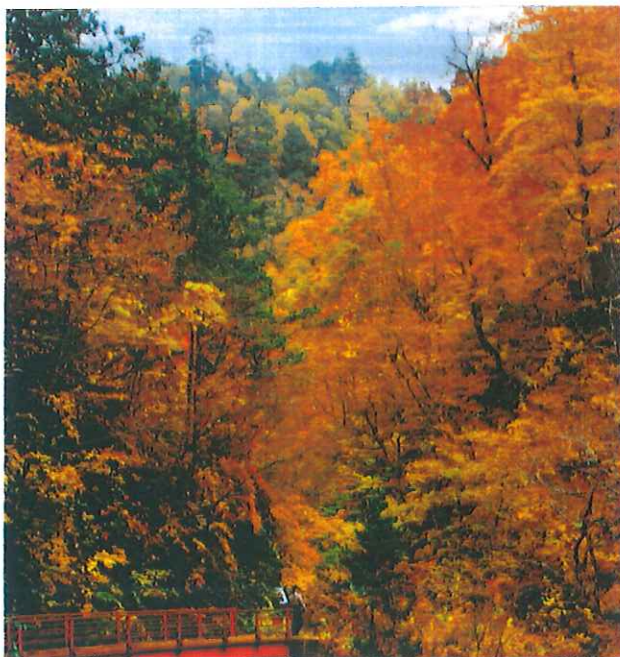
(山形県大江町ガイドブックより一部抜粋)

豊かな自然に恵まれたこの町では、山菜や四季折々に「葉っぱ」と呼ばれる木葉・木花が生産されております。私共、中国料理酒家華福寿ではこの町とご縁により「山菜」や「葉っぱ」の生産者の皆様より分けて戴くことになりました。この資料では「葉っぱ」を1年を通して季節毎に、ご紹介いたしたいと存じます。同様に、時期が来ましたら「山菜」のご紹

参考資料：林将之著「樹木の葉」山と溪谷社
林将之著「樹木図鑑」ナツメ社
田初代・金田洋一郎著「樹木の事典」西東社
山形県大江町ガイドブック
シャープ電子辞書「スーパー大辞林」



灯ろう流し花火大会



紅葉の神通峡



雪の神最上川

ヤブコウジ：葎柑子

サクラソウ科ヤブコウジ属
Ardisia japonica

ヤブコウジ科の常緑小低木。暖帯の山地の林下に群生。庭木や盆栽とする。高さ約20cm。葉は長楕円形で茎の上方に輪生状につく。夏、腋生の花柄に白花を数個つけ、冬小球形の果実が赤熟する。

花期：7～8月 / 果期：10～11月

別名：山橘(やまたちばな) (季：春)

赤玉の木(あかだまのき)

雑学：別名は十両、寒い時期に真っ赤な目立つ果実をつけるが、果実の個数が少ないことから十両という名が付けられた。



「財運に恵まれる縁起もの」



十両：ヤブコウジ・百両：カラタチバナ・千両：センリョウ・万両：マンリョウ



アオキ：
青木(季：冬)

アオキ科アオキ属
Aucuba japonica

アオキ科の常緑低木。林地に自生。
雌雄異株。若い枝葉は緑色を帯
びる。葉は厚く光沢があり、まば
らな鋸歯(きよし)がある。春、紫
褐色の小花をつけ、雌株は冬季に
赤熟する長楕円形の実を結ぶ。
庭木とされ、園芸品種が多い。

花期：11～2月 / 果期：3～4月

雑学：日陰でも良く育つので、庭木
として昔から重宝されてきた。
人口が爆発的に増えて身の回
りの自然が減った江戸の街で
は、冬の間も緑がなくならな
い常緑樹が庭木に求められ、
日陰を好む本種は人気だったという。



鋸歯は深く、外を向く
傾向がある。この深は
葉歯が特に大きい型



はじめ葉柄や葉
裏に毛があるが、
成葉はほぼ無毛

アオキ
葉は
太い枝も緑色
で、次第に褐
色の斑すじが
増えてくる



ふいり

斑入アオキ：
斑入青木(季：冬)

アオキ科アオキ属
var. borealis

従来はミズキ科に属していたが、
現在は、アオキ科の変種ナンゴク
アオキと呼ばれる、常緑低木。林
地に自生。雌雄異株。若い枝葉は
緑色を帯びる、葉は厚く光沢とま
だら状の斑紋があり、まばらな鋸
歯(きよし)がある。春、紫褐色の
小花をつけ雌株は冬季に赤熟する
長楕円形の実を結ぶ。庭木とされ
観賞用の園芸品種が多い。



ゆずり葉：
讓葉・標 (季：新年)

ユズリハ科ユズリハ属
Daphniphyllum. macropodum

ユズリハ科の常緑高木。暖地の海岸近くに多く、庭木ともされる。葉は互生し、大形の狭長楕円形で、質が厚く濃緑色。葉柄は赤い。雌雄異株。初夏、黄緑色の小花を総状につけ、実は暗青色に熟す。

雑学：春に枝先に若葉が生え、その下に花が咲いて、古くなった葉が黄葉して垂れ下がる。その様子を若い世代に主役を譲る世代交代に見立てたのが和名の由来で子孫繁栄を象徴する、縁起の良い木とされている。葉は新年の飾りに用いられる。

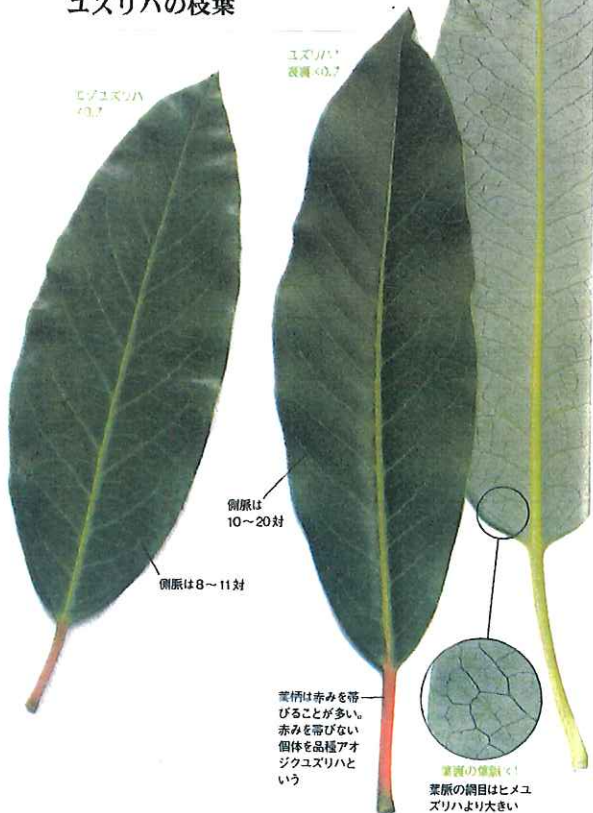


「子孫繁栄・代々繁栄の象徴」

花期：5～6月 / 果期：11～12月



ユズリハの枝葉



ツルウメモドキ：
蔓梅擬(季：新年)

ニシキギ科ツルウメモドキ属
Celastrus orbiculatus

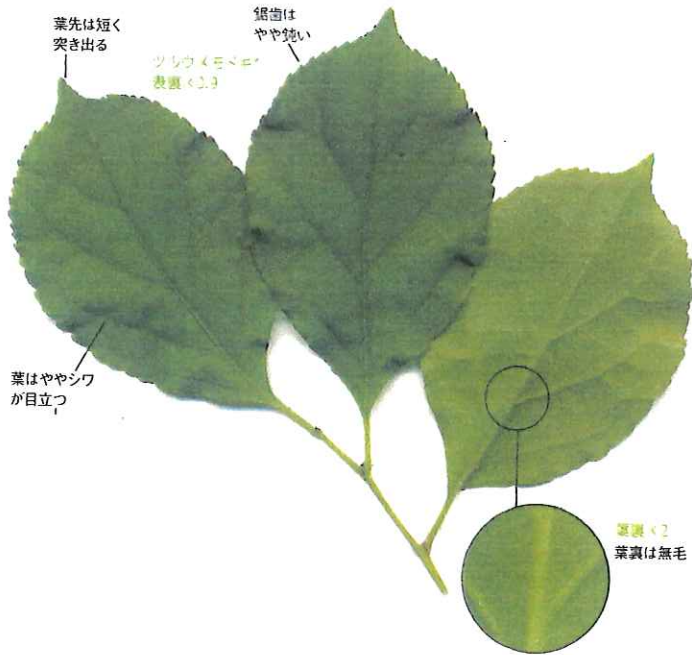
ニシキギ科のつる性落葉低木。山野に自生。葉は広楕円形。雌雄異株。初夏、腋生の集散花序に淡緑色の小花をつける。蒴果は小球形で、秋に熟し、三裂して黄赤色の種子を現す。

別名：ツルモドキ。

花期：5～6月 / 果期：10～12月



実は黄熟し、種子は赤い(11月)



シダ：
羊歯・葉朶 (季：新年)

シダ植物の一綱。シダ植物の大半を占める。植物体の形は種々であるが、葉は大きく、緑または裏に胞子嚢(ほうしのう)をつける。ヘゴ、ワラビ、シノブ、サンショウモなど世界に九千種。花も種子もなく増殖するため、ヨーロッパでは古くから魔法の草とされ、常緑で茂ることから繁栄と長寿を願う正月の飾り物に使われる。

別名：ウラジロ。
「繁栄と長寿の象徴」





ユキワリソウ：
雪割草

サクラソウ科の多年草。深山の岩地などに生える。葉は根生し、長さ約4cmの倒披針形。5・6月、高さ10cmの花茎を出し、頂にサクラソウに似た淡紅色の花を散状につける。

別名：ミスミソウ(季：春)
スハマソウ(季：春)



ササ：笹・篠・小竹



イネ科のタケ亜科の植物の小形のものの総称。タケに比べ丈が低く、桿(かん)は細くて生長後も竹の子の皮が残る。全国山地に群生し、観賞用に庭や公園に栽植。葉は粽や和菓子を包むのに用い、茎はバルブや細工物にする。果実は食用。メダケ・ヤダケ・アズマザサ・クマザサ・ミヤコザサ・チマキザサなど種類が多い。

「不老長寿の象徴」



モウソウザサ：孟宗笹

イネ科のタケ亜科のモウソウタケの
小さい枝葉。中国の二十四孝の一人。
寒中に筍（たけのこ）を母に供した孝
子の名から付けられたと言われている。

「孝の象徴」

「しなやかで強靱な生命力の象徴」



ヒムロ：姫檜

ヒノキ科ヒノキ属
Chamaecyparis
pisifers 'Squarrosa'

ヒノキ科の常緑小高木。サワラの園芸
変種で庭木などとする。葉は線形で柔
らかく、小枝に密に輪生。葉裏は白
みを帯びる。樹高5～10m。

別名：ヤワラスギ、シモフリヒバ、
アヤスギ、ヒメムロ。



ヒムロ。木全体が青白く見える

